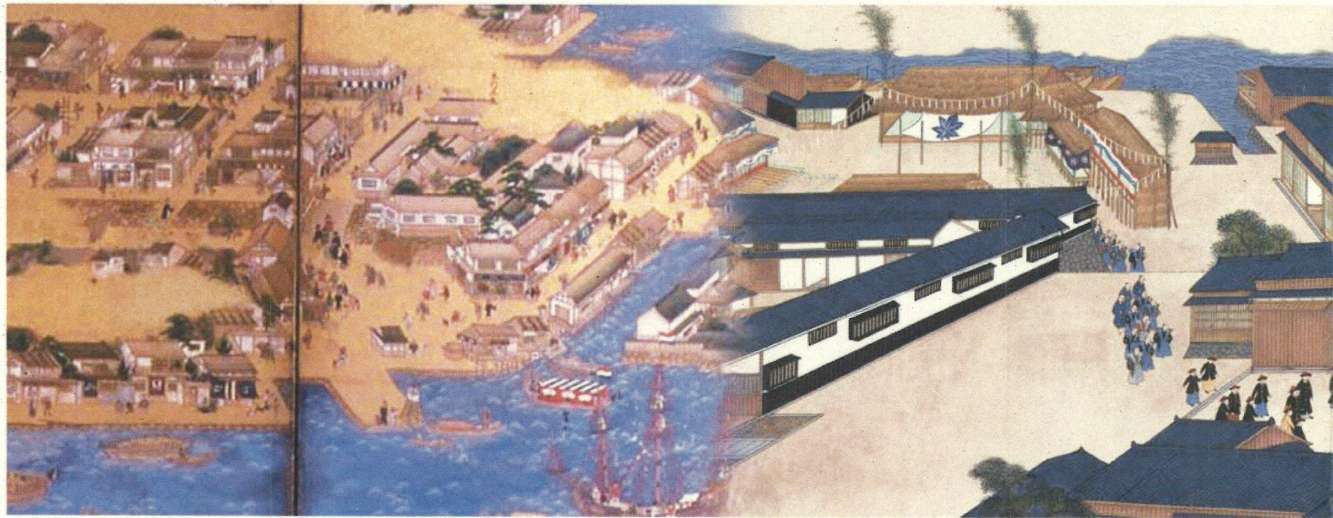


(参考) お旅所の変遷について



- 1634年 くんち・お旅所の始まり
- ~1947年(昭和22年) 大波止:現在の県庁第三別館付近
(神社用地:昭和21年に大蔵省用地となり、昭和25年頃県有地となる。)
- 1948年(昭和23年) 浜屋裏
- 1949年(昭和24年) 長崎地方裁判所前空地
- ~1951年(昭和26年)
- 1952年(昭和27年) 現江戸町公園
- ~1955年(昭和30年)
- 1956年(昭和31年) 県庁前広場
- 1957年(昭和32年) 大波止埋立地:現「夢彩都」敷地の一部
- ~1997年(平成9年)
- 1998年(平成10年) 大波止埋立地:大波止ビル横の現在地
- ~現在

※お旅所
長崎くんちの3日間、諏訪神社に祀られている三体の神体(諏訪・森崎・住吉)が、大波止に下り祀られ、奉納踊りがおこなわれるところ。
なお、岬の教会が建てられた1571年以前には、森崎神社があったという説もある。

■寛文長崎図屏風(1673年頃の「長崎奉行所西役所」と「出島」)
※長崎歴史文化博物館蔵
広場にお旅所や高札、坂を上る数人のオランダ人、などが描かれている。

■崎陽諏訪明神祭祀図(文化年間 1804~1817)
※大阪府所蔵/Osaka Archives
警備の役人、西役所、御旅所、が描かれている。

63

■お旅所が設けられたと想定される箇所

